

ベクトル (基礎数理 I(a) 講義資料)
 (http://takeno.iee.niit.ac.jp/%7Eshige/math/
 lecture/blensyu/hwsol/2017/vector1.pdf)

1 ベクトルの定義

- 「ベクトル」とは“大きさ”と“向き”を合わせ持つ量。
- ベクトルの場所は無視する。すなわち、平行移動して重なるベクトル (向きと大きさが同じもの) は等しいと考える (図 1)。
- ベクトルの記号:
 - 1 文字の名前で表す場合、 $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \dots$ (上に矢印), あるいは、 $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}, \dots$ (太字)。
 - \overrightarrow{AB} = 点 A から点 B へ向かうベクトル (図 2)

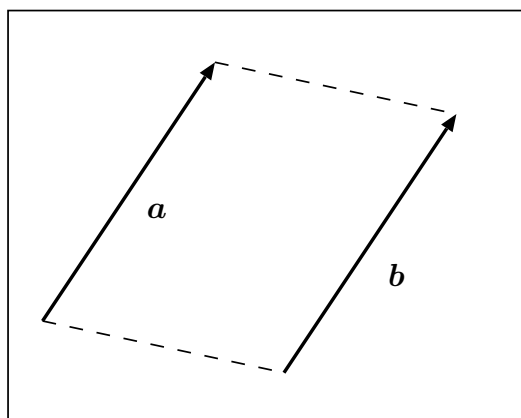


図 1: $\mathbf{a} = \mathbf{b}$

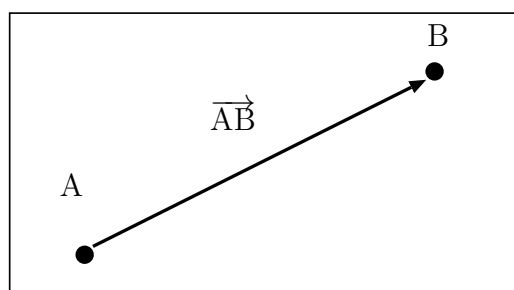


図 2: \overrightarrow{AB}

問 1 中心 O の正六角形 ABCDEF に対して、次のベクトルに等しいベクトル (O, A, B, C, D, E, F のいずれか 2 点からなるベクトル) をすべて上げよ。 (1) \overrightarrow{OA} (2) \overrightarrow{AB}

- $|\mathbf{a}|$ = ベクトルの大きさ (長さ)。
- 用語:
 - 単位ベクトル = 大きさが 1 のベクトル

- ゼロベクトル = 大きさが 0 のベクトル、 $\vec{0}$ や $\mathbf{0}$ で表す。
 \overrightarrow{AA} もゼロベクトル。
 注意: ゼロベクトルに“向き”はないが、便宜的にベクトルと見なす。
- 点 P の位置ベクトル = 原点 O から P へ向かうベクトル \overrightarrow{OP}
- スカラー = 実数。「ベクトル」の対義語 (向きのない量)。
 * $|a|$ 、面積、体積、温度 = スカラー
 * a 、力、速度、加速度 = ベクトル
- 平面ベクトル = 2 次元座標系 (xy) 内でのベクトル (2 次元ベクトル)
- 空間ベクトル = 3 次元座標系 (xyz) 内でのベクトル (3 次元ベクトル)

問 2 中心 O、一辺の長さが 2 の正六角形 ABCDEF に対して、次の値を求めよ。(1) $|\overrightarrow{AB}|$ (2) $|\overrightarrow{BD}|$ (3) $|\overrightarrow{CF}|$

2 ベクトルの和、差、スカラー倍

- ベクトルの和 $a + b$ の定義 (2 通りある):

 1. $a = \overrightarrow{AB}$, $b = \overrightarrow{BC}$ とするとき (a の終点と b の始点を合わせる)、 $a + b = \overrightarrow{AC}$ とする (図 3)。
 2. $a = \overrightarrow{AB}$, $b = \overrightarrow{AC}$ とし (a と b の始点を合わせる)、ABDC が平行四辺形になるように D を取るとき、 $a + b = \overrightarrow{AD}$ とする (図 4)。

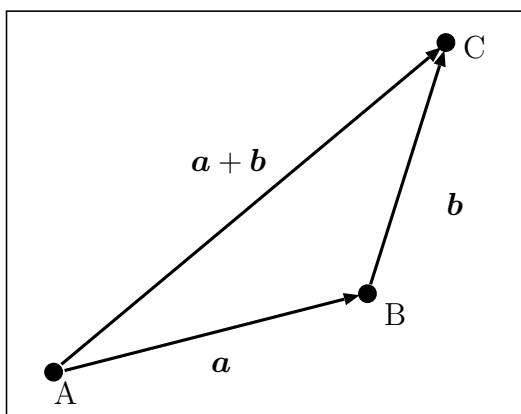


図 3: ベクトルの和 1.

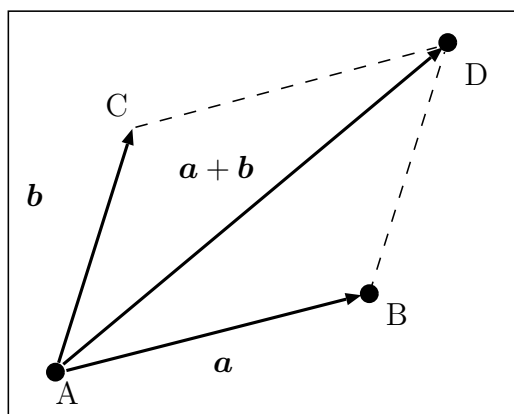


図 4: ベクトルの和 2.

- ベクトルの和の性質

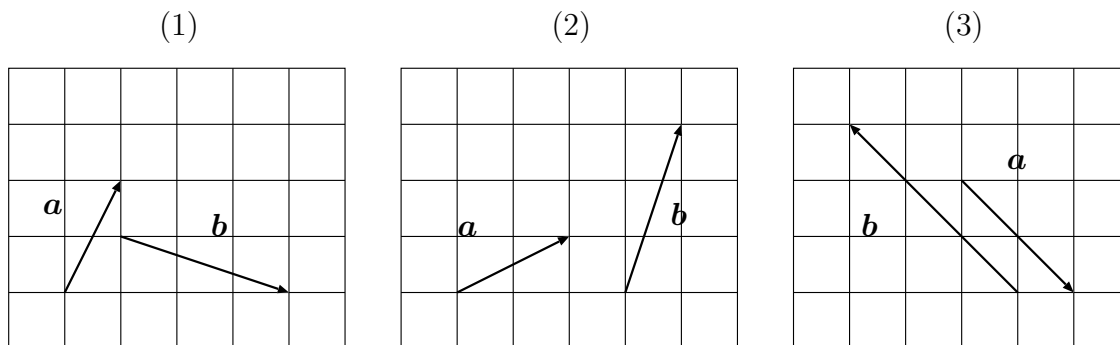
 1. $a + b = b + a$
 2. $(a + b) + c = a + (b + c)$

3. $\mathbf{a} + \mathbf{0} = \mathbf{a}$

4. $\mathbf{a} + (-\mathbf{a}) = \mathbf{0}$ ($-\mathbf{a}$ は \mathbf{a} と同じ大きさで向きが逆のベクトル)

5. $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC}$

問 3 以下の図に対して、 $\mathbf{a} + \mathbf{b}$ を図で示せ。



問 4 $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} + \overrightarrow{CA} = \mathbf{0}$ となることを示せ。

問 5 上の和の性質 2. が成り立つことを図を用いて説明せよ。

● ベクトルの差の定義: $\mathbf{a} - \mathbf{b} = \mathbf{a} + (-\mathbf{b})$ (図 5)、 $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CB} - \overrightarrow{CA}$

問 6 問 3 の \mathbf{a} , \mathbf{b} に対して、 $\mathbf{a} - \mathbf{b}$ を図で示せ。

● ベクトルのスカラー倍 $k\mathbf{a}$ の定義 (k は実数): (図 6)

- $k > 0$ のときは、 \mathbf{a} と向きが同じで、大きさが $|\mathbf{a}|$ の k 倍のベクトル。
- $k < 0$ のときは、 \mathbf{a} と向きが逆で、大きさが $|\mathbf{a}|$ の $|k|$ 倍のベクトル。
- $k = 0$ のときは、 $\mathbf{0}$ 。

● ベクトルのスカラー倍の性質

1. $k(\mathbf{a} + \mathbf{b}) = k\mathbf{a} + k\mathbf{b}$
2. $(k + \ell)\mathbf{a} = k\mathbf{a} + \ell\mathbf{a}$
3. $k(\ell\mathbf{a}) = (k\ell)\mathbf{a}$
4. $1\mathbf{a} = \mathbf{a}$, $(-1)\mathbf{a} = -\mathbf{a}$

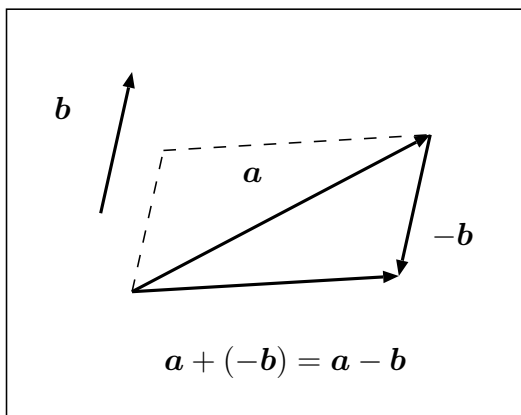


図 5: ベクトルの差

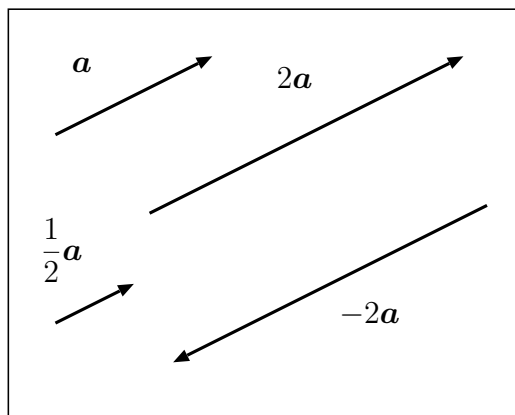


図 6: ベクトルのスカラー倍

問 7 次の式を展開せよ。 $3(a + 2b) - 4(b - 3a)$

問 8 問 3 の a, b に対して、 $\frac{1}{2}a - \frac{1}{3}b$ を図で示せ。

● スカラー倍の応用

- $a \neq 0, b \neq 0$ のとき、 $a \parallel b \iff b = ka$ となる k があること
- $a \neq 0$ のとき、 a と同じ方向の単位ベクトル b は、 $b = \frac{1}{|a|}a$ 、
 a と平行な単位ベクトル c は、 $c = \pm \frac{1}{|a|}a$
- 平行でない 2 つの平面ベクトル a, b を使えば、その平面のベクトルはすべて $sa + tb$ の形に表される (s, t はスカラー)。
- 1 つの平面上にない 3 つの空間ベクトル a, b, c を使えば、空間ベクトルはすべて $sa + tb + uc$ の形に表される (s, t, u はスカラー)。

問 9 中心 O の正六角形 $ABCDEF$ に対して、 $a = \overrightarrow{AB}$, $b = \overrightarrow{AF}$ とするとき、次のベクトルを $sa + tb$ (s, t はスカラー) の形に表せ。
 (1) \overrightarrow{AO} (2) \overrightarrow{AC} (3) \overrightarrow{BD}

3 ベクトルの成分

- ベクトルの成分: ベクトルを数値で表現する仕組み。
- 用語:
 - 基本ベクトル = 軸方向の単位ベクトル (大きさが 1) (図 7, 8)
 - 2 次元の基本ベクトルは 2 つ: e_1 (x 軸方向), e_2 (y 軸方向)
 - 3 次元の基本ベクトルは 3 つ: e_1 (x 軸方向), e_2 (y 軸方向), e_3 (z 軸方向)
 - 注意: 3 次元基本ベクトルは、物理や工学では i, j, k と書くことも多い。

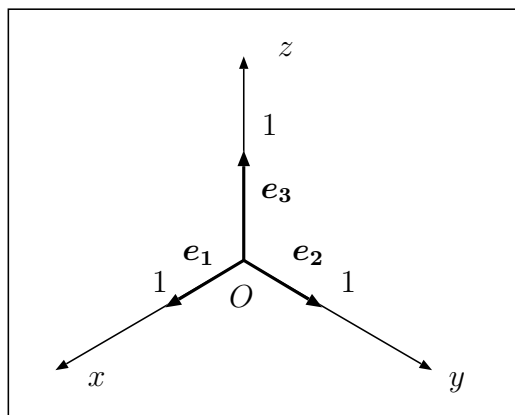
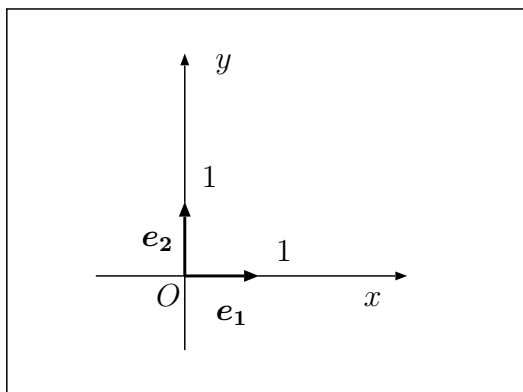


図 7: 基本ベクトル (平面ベクトル) 図 8: 基本ベクトル (空間ベクトル)

- 定義: ベクトル \mathbf{a} の成分 = 「 $\mathbf{a} = \overrightarrow{OA}$ となる点 A の座標」 (図 9)

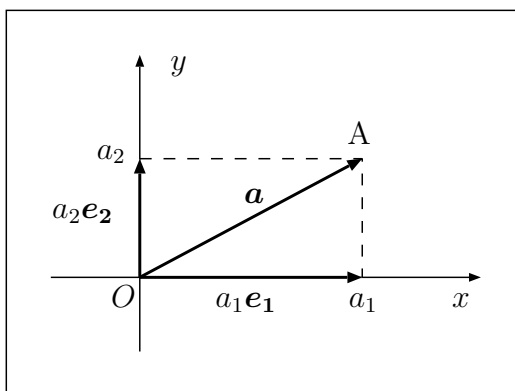
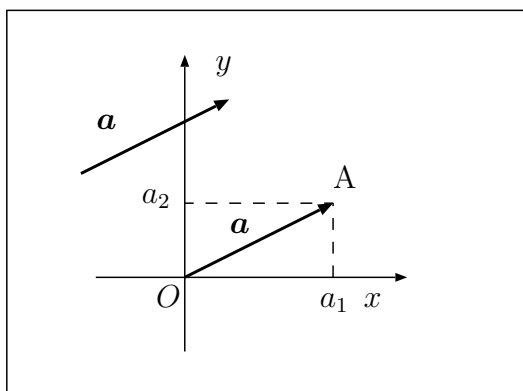


図 9: ベクトルと成分

図 10: 基本ベクトル表現

- 書き方:
 - 平面ベクトル: $A(a_1, a_2)$ のとき、 $\mathbf{a} = (a_1, a_2)$ と書く。
 - 空間ベクトル: $A(a_1, a_2, a_3)$ のとき、 $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$ と書く。
 - 注意: $\begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix}$ のように縦に書く本もある。
- a_1 を x 成分、 a_2 を y 成分 (3 次元の場合 a_3 を z 成分) と呼ぶ。
- 基本ベクトルの成分
 - 平面ベクトル: $\mathbf{e}_1 = (1, 0), \mathbf{e}_2 = (0, 1)$
 - 空間ベクトル: $\mathbf{e}_1 = (1, 0, 0), \mathbf{e}_2 = (0, 1, 0), \mathbf{e}_3 = (0, 0, 1)$

問 10 次の成分を持つベクトルを xy 平面上に図示せよ。

(1) $\mathbf{a} = (1, -3)$ (2) $\mathbf{b} = \left(0, -\frac{3}{2}\right)$ (3) $\mathbf{c} = (4 - 6, 3 + 2)$

問 11 問 3 の格子の一マスが 1×1 のサイズであるとき、 \mathbf{a} , \mathbf{b} をそれぞれ成分で表せ。

● 成分表現と基本ベクトル表現 (図 10)

○ 平面ベクトル: $\mathbf{a} = (a_1, a_2) \iff \mathbf{a} = a_1 \mathbf{e}_1 + a_2 \mathbf{e}_2$

○ 空間ベクトル: $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3) \iff \mathbf{a} = a_1 \mathbf{e}_1 + a_2 \mathbf{e}_2 + a_3 \mathbf{e}_3$

● 成分による計算

○ 平面ベクトルの場合 ($\mathbf{a} = (a_1, a_2)$, $\mathbf{b} = (b_1, b_2)$)

* $\mathbf{a} = \mathbf{b} \iff a_1 = b_1 \text{ かつ } a_2 = b_2$

* $|\mathbf{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$

* $\mathbf{a} = \mathbf{0} \iff a_1 = a_2 = 0$

* $\mathbf{a} + \mathbf{b} = (a_1 + b_1, a_2 + b_2)$, $\mathbf{a} - \mathbf{b} = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$

* $c\mathbf{a} = (ca_1, ca_2)$

* $A(a_1, a_2)$, $B(b_1, b_2)$ のとき、 $\overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2)$

○ 空間ベクトルの場合 ($\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$, $\mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$)

* $\mathbf{a} = \mathbf{b} \iff a_1 = b_1 \text{ かつ } a_2 = b_2 \text{ かつ } a_3 = b_3$

* $|\mathbf{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2}$

* $\mathbf{a} = \mathbf{0} \iff a_1 = a_2 = a_3 = 0$

* $\mathbf{a} + \mathbf{b} = (a_1 + b_1, a_2 + b_2, a_3 + b_3)$, $\mathbf{a} - \mathbf{b} = (a_1 - b_1, a_2 - b_2, a_3 - b_3)$

* $c\mathbf{a} = (ca_1, ca_2, ca_3)$

* $A(a_1, a_2, a_3)$, $B(b_1, b_2, b_3)$ のとき、 $\overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2, b_3 - a_3)$

問 12 2 点 $A(-1, 3)$, $B(2, 5)$ に対して、次のものを求めよ (スカラーか成分で表す)。 (1) \overrightarrow{AB} (2) $3\overrightarrow{BA}$ (3) $|-5\overrightarrow{AB}|$

問 13 ベクトル $\mathbf{a} = (3, 1, -2)$, $\mathbf{b} = (0, -3, 5)$ に対して、次のものを求めよ。 (1) $4\mathbf{b} - 2\mathbf{a}$ (2) $3(\mathbf{a} - \mathbf{b}) - (2\mathbf{b} - 4\mathbf{a})$ (3) $|\mathbf{a} - \mathbf{b}|$

問 14 ベクトル $\mathbf{a} = (2, -1)$, $\mathbf{b} = (1, 3)$ に対して、次のベクトルを $s\mathbf{a} + t\mathbf{b}$ (s, t はスカラー) の形に表せ。 (1) $\mathbf{c} = (3, 2)$ (2) $\mathbf{d} = (4, 0)$

問 15 $A(4, 3, -2)$, $B(-5, 2, 3)$, $C(1, -1, 0)$ で $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CD}$ のとき、点 D の座標を求めよ。

問 16 $\mathbf{a} = (4, 3)$, $\mathbf{b} = (-6, x)$ のとき、 (1) $\mathbf{a} // \mathbf{b}$ となるような x の値を求めよ。 (2) \mathbf{a} と同じ向きの単位ベクトル \mathbf{c} を求めよ。

4 ベクトルの内積

- 内積の定義: $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ のとき、
 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{a}$ と \mathbf{b} の内積 (または スカラー積) $= |\mathbf{a}||\mathbf{b}| \cos \theta$ (スカラー値)
 $(\theta$ は \mathbf{a} と \mathbf{b} のなす角、 $0 \leq \theta \leq \pi$)
ただし、 $\mathbf{a} = \mathbf{0}$ または $\mathbf{b} = \mathbf{0}$ のときは (θ が決まらないが)、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$ とする。

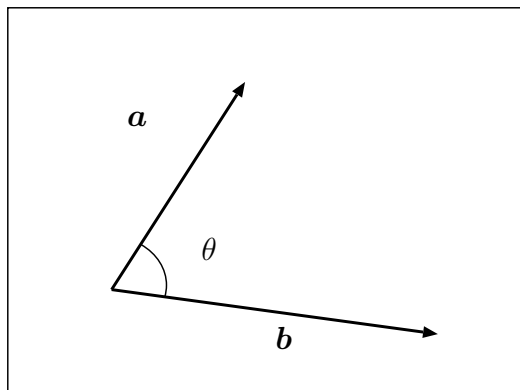


図 11: ベクトルの内積

- $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ を、 (\mathbf{a}, \mathbf{b}) や $\langle \mathbf{a}, \mathbf{b} \rangle$ と書く流儀もある。

問 17 中心 O 、一辺の長さが 2 の正六角形 $ABCDEF$ に対して、次の値を求めよ。(1) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD}$ (2) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF}$ (3) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$

- 内積の成分計算式:
 - 平面ベクトル: $\mathbf{a} = (a_1, a_2), \mathbf{b} = (b_1, b_2)$ のとき、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = a_1b_1 + a_2b_2$
 - 空間ベクトル: $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3), \mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$ のとき、
 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3$

- 内積の性質

1. $\mathbf{a} \cdot \mathbf{a} = |\mathbf{a}|^2$
2. $\mathbf{b} \cdot \mathbf{a} = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$
3. $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} + \mathbf{c}) = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} + \mathbf{a} \cdot \mathbf{c}, (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \mathbf{a} \cdot \mathbf{c} + \mathbf{b} \cdot \mathbf{c}$
4. $(k\mathbf{a}) \cdot \mathbf{b} = k(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}), \mathbf{a} \cdot (k\mathbf{b}) = k(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})$
5. $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ のとき、 $\mathbf{a} \perp \mathbf{b} \iff \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$

問 18 $\mathbf{a} = (3, -2, 5), \mathbf{b} = (1, 4, -2)$ に対して、次の値を求めよ。
(1) $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ (2) $\mathbf{b} \cdot (-3\mathbf{b})$ (3) $(\mathbf{a} + 2\mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} - \mathbf{b})$

● 内積の応用

- なす角: $\cos \theta = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{a}||\mathbf{b}|} = \frac{a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3}{\sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2}\sqrt{b_1^2 + b_2^2 + b_3^2}}$
- 正射影: \mathbf{a} の \mathbf{b} 方向への正射影 ℓ は、 $\ell = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{|\mathbf{b}|}$
- 内積の符号:
 - $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} > 0 \iff$ なす角が鋭角、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} < 0 \iff$ なす角が鈍角
- 展開: $|\mathbf{a} + \mathbf{b}|^2 = (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} + \mathbf{b}) = |\mathbf{a}|^2 + 2\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} + |\mathbf{b}|^2$ 等
- 基本ベクトルの内積: $\mathbf{e}_i \cdot \mathbf{e}_j = 0$ ($i \neq j$ のとき)、 $\mathbf{e}_i \cdot \mathbf{e}_j = 1$ ($i = j$ のとき)
- ある物を力 \mathbf{F} で P から Q まで移動したときの仕事量 W は、 $W = \mathbf{F} \cdot \overrightarrow{PQ}$

問 19 $\mathbf{a} = (1, 3, -1)$, $\mathbf{b} = (2, 4, -1)$ に対して、それらのなす角 θ の $\cos \theta$ の値を求めよ。

問 20 $\mathbf{a} = (3, -2, 5)$, $\mathbf{b} = (2, 4, -2)$, $\mathbf{c} = (2, y, z)$ が、 $\mathbf{a} \perp \mathbf{c}$ かつ $\mathbf{b} \perp \mathbf{c}$ であるとき、 \mathbf{c} を求めよ。

問 21 $|\mathbf{a}| = \sqrt{5}$, $|\mathbf{b}| = 3\sqrt{2}$, $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = -3$ のとき、 $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}|$ の値を求めよ。
(ヒント: $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}|^2 = (\mathbf{a} - 2\mathbf{b}) \cdot (\mathbf{a} - 2\mathbf{b})$ を展開)

問 22 東西方向に伸びるレールの上に乗っている重りを、力 5.0 [N] で北東方向に引いて、レール上を東 15 [m] 移動した。このとき重りにした仕事量 W を求めよ。

5 平面の方程式

- 3次元空間内の平面 α は、それに垂直な方向 (ベクトル $\mathbf{n} = (a, b, c)$) と、平面上にある点 $A(x_0, y_0, z_0)$ (いずれかひとつ) で決定する。

点 $P(x, y, z)$ が平面 α 上にある $\iff \overrightarrow{AP} \perp \mathbf{n} \iff \overrightarrow{AP} \cdot \mathbf{n} = 0$

よって、平面 α の方程式は $a(x - x_0) + b(y - y_0) + c(z - z_0) = 0$

- 一般に、 x, y, z の一次式 $ax + by + cz + d = 0$ は、ベクトル $\mathbf{n} = (a, b, c)$ に垂直な平面を表す。
- 点と平面の距離: 平面 $ax + by + cz + d = 0$ と点 $B(p, q, r)$ との距離 L は、
$$L = \frac{|ap + bq + cr + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$$

問 23 $\mathbf{a} = (3, 1, -2)$ に垂直で、点 $B(1, 0, 4)$ を通る平面の方程式を求めよ。

問 24 $A(1, 1, 6)$, $B(0, 1, 3)$, $C(1, 3, 2)$ を通る平面の方程式を求めよ。

問 25 問 23 の平面と原点との距離を求めよ。

6 ベクトルの外積

- 外積は 3 次元空間ベクトルのみを考えるが、その座標軸は「右手系」とする。

右手系 = x 軸、 y 軸、 z 軸の向きが、右手の親指、人差し指、中指で無理なく表せるもの

= x 軸の方向から y 軸の方向に右ねじを回すと、そのねじの進む方向が z 軸の方向と同じになるもの (図 12, 13)

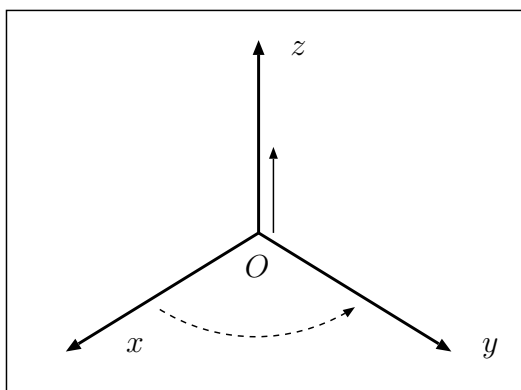


図 12: 右手系

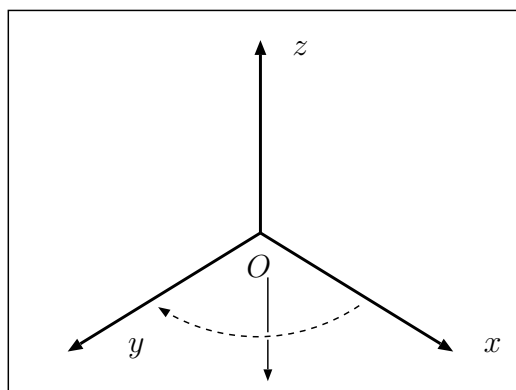


図 13: 左手系

- 外積の定義: $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}$, $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ で、 \mathbf{a} と \mathbf{b} が平行でないとき、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{a}$ と \mathbf{b} の外積 (または ベクトル積) は、次のような「ベクトル」とする。

- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の大きさ $|\mathbf{a} \times \mathbf{b}| = |\mathbf{a}| |\mathbf{b}| \sin \theta$ (ただし θ は \mathbf{a} と \mathbf{b} のなす角) は、 \mathbf{a} と \mathbf{b} が作る平行四辺形の面積 S
- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の方向 = \mathbf{a} , \mathbf{b} の両方に垂直
- $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の向き = \mathbf{a} から \mathbf{b} へ右ねじを回して進む向き (\mathbf{a} , \mathbf{b} , $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ が右手系)

ただし、 $\mathbf{a} = \mathbf{0}$, $\mathbf{b} = \mathbf{0}$, $\mathbf{a} // \mathbf{b}$ のいずれかであるときは、(\mathbf{a} , \mathbf{b} の両方に垂直な方向が決まらないが)、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0}$ とする。

- 注意: 実数 (スカラー) では $a \cdot b$ と $a \times b$ はどちらも単なる積 (ab) と同じ意味だが、ベクトルでは、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ (内積) と $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ (外積) は意味が異なる。正しく書き分けること。

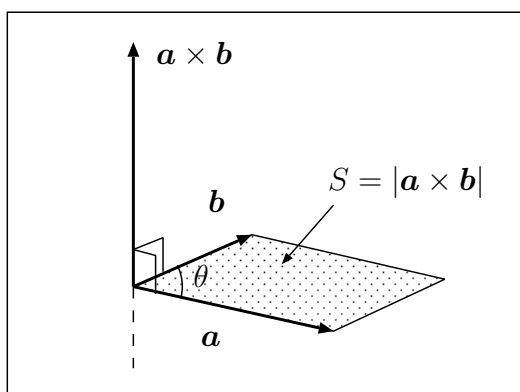


図 14: ベクトルの外積

- 基本ベクトルの外積:

$$\mathbf{e}_1 \times \mathbf{e}_2 = \mathbf{e}_3, \quad \mathbf{e}_2 \times \mathbf{e}_3 = \mathbf{e}_1, \quad \mathbf{e}_3 \times \mathbf{e}_1 = \mathbf{e}_2,$$

$$\mathbf{e}_2 \times \mathbf{e}_1 = -\mathbf{e}_3, \quad \mathbf{e}_3 \times \mathbf{e}_2 = -\mathbf{e}_1, \quad \mathbf{e}_1 \times \mathbf{e}_3 = -\mathbf{e}_2$$

問 26 外積の定義より、次の外積を求めよ。 (1) $2\mathbf{e}_1 \times \mathbf{e}_2$ (2) $(\mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2) \times \mathbf{e}_1$

- 外積の成分計算式: $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$, $\mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$ のとき、

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1)$$

以下の図 15, 16 のように計算するとよい (図 16 は $\mathbf{a} = (3, 4, 5)$, $\mathbf{b} = (2, -1, 3)$ の場合に $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (17, 1, -11)$ となる例)。

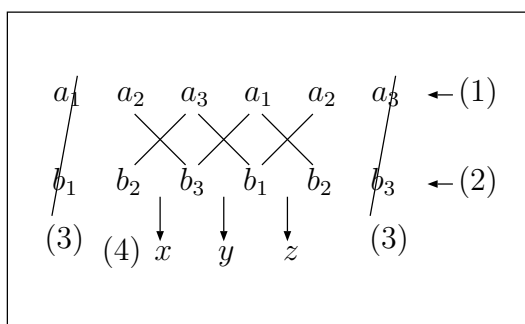


図 15: 外積の成分計算

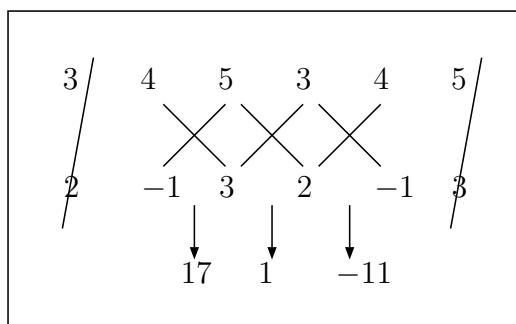


図 16: 成分計算の例

- (1) \mathbf{a} の成分を 2 回書き並べ、
- (2) \mathbf{b} の成分をその下に 2 回書き並べ、
- (3) 両端を削り、
- (4) 斜めにかけて引き算をすればそれが外積の各成分。
- (5) その結果を \mathbf{a} , \mathbf{b} と内積して 0 となることを確認。
($\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ は \mathbf{a} , \mathbf{b} に垂直) (図 16 の例の場合、 $51 + 4 - 55 = 0$, $34 - 1 - 33 = 0$)

問 27 次の外積を求めよ。

$$(1) (3, 2, -1) \times (-2, 1, 5) \quad (2) (5, 0, -2) \times (3, -1, 0) \quad (3) (1, -1, 2) \times (3, -3, 6)$$

● 外積の性質:

$$1. \mathbf{a} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$$

$$2. \mathbf{b} \times \mathbf{a} = -\mathbf{a} \times \mathbf{b}$$

$$3. \mathbf{a} \times (\mathbf{b} + \mathbf{c}) = \mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{a} \times \mathbf{c}, \quad (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \times \mathbf{c} = \mathbf{a} \times \mathbf{c} + \mathbf{b} \times \mathbf{c}$$

$$4. (k\mathbf{a}) \times \mathbf{b} = k(\mathbf{a} \times \mathbf{b}), \quad \mathbf{a} \times (k\mathbf{b}) = k(\mathbf{a} \times \mathbf{b})$$

$$5. \mathbf{a} \neq \mathbf{0}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0} \text{ のとき、} \mathbf{a} // \mathbf{b} \iff \mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0}$$

● 注意: 外積は結合法則は成り立たない。すなわち、 $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c}$ と $\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ は等しくない。

$$\text{例: } (\mathbf{e}_1 \times \mathbf{e}_2) \times \mathbf{e}_2 = -\mathbf{e}_1, \quad \mathbf{e}_1 \times (\mathbf{e}_2 \times \mathbf{e}_2) = \mathbf{0}$$

● 外積の応用

○ 展開:

$$\begin{aligned} (p\mathbf{a} + q\mathbf{b}) \times (r\mathbf{a} + s\mathbf{b}) &= pr(\mathbf{a} \times \mathbf{a}) + ps(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) + qr(\mathbf{b} \times \mathbf{a}) + qs(\mathbf{b} \times \mathbf{b}) \\ &= (ps - qr)(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \end{aligned}$$

○ 大きさ: $|\mathbf{a} \times \mathbf{b}| = |\mathbf{a}||\mathbf{b}|\sin\theta$

○ \mathbf{a} と \mathbf{b} が作る三角形の面積 $= \frac{1}{2}|\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$

○ $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ の三重積 $= (\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ が作る平行六面体の体積) $\times (\pm 1)$

○ 磁束密度 \mathbf{B} の磁界の中で流れる電流 I の流れる方向が \mathbf{n} (=単位ベクトル) であるとき、その長さ ℓ の導線には力 $\mathbf{F} = (I\mathbf{n} \times \mathbf{B})\ell$ が働く (フレミングの法則)

問 28 $\mathbf{a} = (-4, 1, 2), \mathbf{b} = (1, 0, -3)$ に対し、次のものを求めよ。

(1) \mathbf{a} と \mathbf{b} が作る平行四辺形の面積 S (2) \mathbf{a} と \mathbf{b} に垂直な単位ベクトル \mathbf{n}

問 29 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (3, 1, -4)$ のとき、次のものを求めよ。

(1) $(2\mathbf{a}) \times (3\mathbf{b})$ (2) $(\mathbf{a} + \mathbf{b}) \times (2\mathbf{a} - \mathbf{b})$ (3) $(\mathbf{a} + \mathbf{b})$ と $(2\mathbf{a} - \mathbf{b})$ が作る三角形の面積

問 30 $\mathbf{a} = (1, -1, 3), \mathbf{b} = (2, 3, 5), \mathbf{c} = (-1, 1, 0)$ に対し、

(1) $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を求めよ。 (2) $\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ を求めよ。 (3) $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}$ と $(\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \cdot \mathbf{a}$ が等しいことを示せ。

問 31 問 20 を、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を計算することで解け (ヒント: $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ と \mathbf{c} は平行)。

● 内積と外積の比較

項目	内積	外積
記号	$\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$	$\mathbf{a} \times \mathbf{b}$
値	スカラー値	ベクトル値
交換法則	$\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{b} \cdot \mathbf{a}$	$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = -\mathbf{b} \times \mathbf{a}$
分配法則	成立	成立
同じものの積	$\mathbf{a} \cdot \mathbf{a} = \mathbf{a} ^2$	$\mathbf{a} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$
ゼロになるとき	$\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0 \iff \mathbf{a} \perp \mathbf{b}$	$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{0} \iff \mathbf{a} \parallel \mathbf{b}$
次元	2 次元、3 次元	3 次元のみ

問 32 $\mathbf{a} = (1, 3, -4)$, $\mathbf{b} = (2, -1, 5)$, $\mathbf{c} = (1, 1, -1)$ に対して、次の記述、計算式の誤りを指摘せよ。

(1) $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = 2 - 3 - 20 = -21$, $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = (2, -3, -20)$

(2) \mathbf{a} , \mathbf{b} が作る平行四辺形の面積 S_1 は、
 $S_1 = (11, -13, -7) = \sqrt{11^2 + 13^2 + 7^2} = \sqrt{339}$

(3) $(3\mathbf{c}) \times (2\mathbf{a}) = 6(\mathbf{a} \times \mathbf{c}) = (6, -18, -12)$

(4) \mathbf{a} , \mathbf{c} が作る平行四辺形の面積 S_2 は、 $|\mathbf{a}| = \sqrt{26}$, $|\mathbf{c}| = \sqrt{3}$ より
 $S_2 = |\mathbf{a}| \times |\mathbf{c}| = \sqrt{78}$

問の略解

- 問 1 (1) $\overrightarrow{EF}, \overrightarrow{DO}, \overrightarrow{CB}, \overrightarrow{OA}$ (\overrightarrow{OA} 自身も \overrightarrow{OA} に等しい)
 (2) $\overrightarrow{FO}, \overrightarrow{OC}, \overrightarrow{ED}, \overrightarrow{AB}$ (\overrightarrow{AB} 自身も \overrightarrow{AB} に等しい)

- 問 2 (1) 2, (2) $2\sqrt{3}$, (3) 4

- 問 3 (1) 図は略 (右に 4、上に 1 上がったベクトル),
 (2) 図は略 (右に 3、上に 4 上がったベクトル),
 (3) 図は略 (左に 1、上に 1 上がったベクトル)

- 問 4 左辺 = $(\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC}) + \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{AC} + \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{AA} = \mathbf{0}$

- 問 5 略

- 問 6 (1) 図は略 (左に 2、上に 3 上がったベクトル),
 (2) 図は略 (右に 1、下に 2 下がったベクトル),
 (3) 図は略 (右に 5、下に 5 下がったベクトル)

- 問 7 $15\mathbf{a} + 2\mathbf{b}$

- 問 8 (1) 図は略 (左に $1/2$ 、上に $4/3$ 上がったベクトル),
 (2) 図は略 (右に $2/3$ 、下に $1/2$ 下がったベクトル),
 (3) 図は略 (右に 2、下に 2 下がったベクトル)

- 問 9 (1) $\overrightarrow{AO} = \mathbf{a} + \mathbf{b}$, (2) $\overrightarrow{AC} = 2\mathbf{a} + \mathbf{b}$, (3) $\overrightarrow{BD} = \mathbf{a} + 2\mathbf{b}$

- 問 10 略

- 問 11 (1) $\mathbf{a} = (1, 2)$, $\mathbf{b} = (3, -1)$, (2) $\mathbf{a} = (2, 1)$, $\mathbf{b} = (1, 3)$,
 (3) $\mathbf{a} = (2, -2)$, $\mathbf{b} = (-3, 3)$

- 問 12 (1) $\overrightarrow{AB} = (3, 2)$, (2) $3\overrightarrow{BA} = (-9, -6)$, (3) $|-5\overrightarrow{AB}| = 5\sqrt{13}$

問 13 (1) 与式 $= (-6, -14, 24)$, (2) 与式 $= 7\mathbf{a} - 5\mathbf{b} = (21, 22, -39)$,
(3) 与式 $= 2\sqrt{15}$

問 14 (1) $\mathbf{c} = \mathbf{a} + \mathbf{b}$, (2) $\mathbf{d} = \frac{12}{7}\mathbf{a} + \frac{4}{7}\mathbf{b}$

問 15 $D(-8, -2, 5)$

問 16 (1) $x = -9/2$, (2) $\mathbf{c} = \left(\frac{4}{5}, \frac{3}{5}\right)$

問 17 (1) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD} = 4$, (2) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF} = -2$, (2) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = 6$

問 18 (1) $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = -15$, (2) $\mathbf{b} \cdot (-3\mathbf{b}) = -63$, (3) 与式 $= -19$

問 19 $\cos \theta = \frac{14}{\sqrt{231}}$

問 20 $\mathbf{c} = (2, -2, -2)$

問 21 $|\mathbf{a} - 2\mathbf{b}| = \sqrt{89}$

問 22 $W = \frac{75}{2}\sqrt{2}[\text{Nm}] = 53 [\text{Nm}]$

問 23 $3x + y - 2z + 5 = 0$

問 24 $3x - 2y - z + 5 = 0$

問 25 $\frac{5}{\sqrt{14}}$

問 26 (1) $2\mathbf{e}_3$, (2) $-\mathbf{e}_3$

問 27 (1) $(11, -13, 7)$, (2) $(-2, -6, -5)$, (3) $(0, 0, 0)$

問 28 (1) $S = \sqrt{110}$, (2) $\mathbf{n} = \left(\pm \frac{3}{\sqrt{110}}, \pm \frac{10}{\sqrt{110}}, \pm \frac{1}{\sqrt{110}} \right)$

問 29 (1) $(18, 6, -24)$, (2) $(-9, -3, 12)$, (3) $\frac{3}{2}\sqrt{26}$

問 30 (1) $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (-14, 1, 5)$, (2) $\mathbf{b} \times \mathbf{c} = (-5, -5, 5)$, (3) 略 (15)

問 31 略

問 32 (1) $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の右辺は $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ の計算になっている、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ の右辺はベクトルではなく $2 - 3 - 20$ 。
(2) $S_1 = (11, -13, -7)$ が間違い、正しくは $S_1 = |(11, -13, -7)|$ 。
(3) 正しくは、 $(3\mathbf{c}) \times (2\mathbf{a}) = 6(\mathbf{c} \times \mathbf{a}) = (-6, 18, 12)$ 。
(4) $S_2 = |\mathbf{a}| \times |\mathbf{c}|$ となるのは、平行四辺形が長方形のときだけ。これは長方形ではないので、 $S_2 = |\mathbf{a} \times \mathbf{c}| = |(1, -3, -2)| = \sqrt{14}$ 。